

協議会ニュース

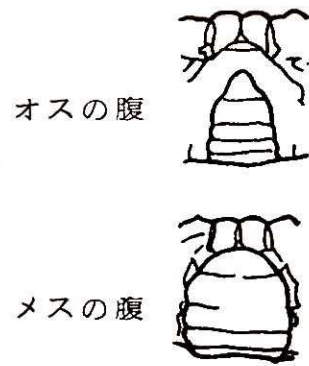
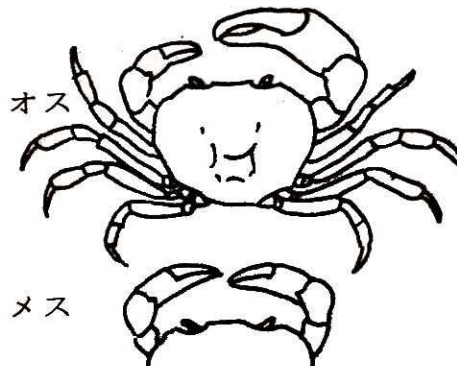
3号

愛知県自然観察指導員連絡協議会

58.4

◎ 奥三河における自然環境保全活動の推移に 関する事例報告（権田昭一郎）	1
◎ 東山植物園とその付近における野鳥の 巣箱観察報告（浅沼秀夫）	3
{ 自然観察情報 }	
・ 応急手当（2）（岩崎龍生）	5
・ 私と自然観察（北岡明彦）	7
{ 会員広場 }	
自然と気温（安藤宏美）	8
{ 地域情報 }	
毛湿原の花（/）ーカザグルマー	9
◎ 協議会行事報告	10
◎ 会員の移動	10
◎ 行事案内	11

{ サワガニ }



愛知県教育委員会が全県（含名古屋市）を県事務所単位の10地区に分けて、それぞれの地区に、従来相応の研究実績を持つ小中高等学校の中から、推進校1校と協力校5校を選び「生物環境保全推進事業」と銘打ち、全国にさがかけて、自然環境の保全活動を独立的に教育現場へ導入したのは、昭和46年度当初のことであった。

当時は、正に経済高度成長の最中で、生産優先が当然のこととされ、殊にこの時期は、「山や海は、生産力再生の場」つまり「都会の憂さの捨て所」と云った発想が主流をなし、郊外部に向けてレクリエーション、レジャー観光を目的とした大規模開発が至る所で強行され、行政的にもそれはむしろ好ましいこととして歓迎されると云った時期であった。

小生が担当した県新城事務所管内の、主な開発だけを見ても次のとおりである。

時期 (昭和)	主な開発事業
39～43	大野原湿原開拓（作手）
46	鳳来寺山パークウェイ（鳳来）
47	東田原湿原開拓（作手）、本宮山スカイライン（作手） 有海原工場団地（新城）、雁峰林道（作手～新城）
48	桜洲観光開発（新城）
49	吉祥山ゴルフ場（新城）

このような実情の下における当保全活動は、時期を得たと云うか、どの地域も具体的な自然破壊現場の提示には事を欠かず、各校ともに猛然と活動を開始した。つまり、実地踏査、展示会、発表会、マスコミ報道、植物移植作業、昆虫等の人工飼育、清掃作業、アンケート、パンフレットや冊子発行等啓発活動等……と。

こうした活動の結果は、前記のとおり、目にあまる自然環境の破壊

や汚染の事実が、各地に散在したことと、活動の推進者が無垢な児童生徒達であったこと等が有効に働き、全県で「自然保護宣言」等市町村の政策転換・路線変更があり、切削法面の緑化等工事工程の改変、新規計画の見直しや中止、事前環境調査の強化と結果への配慮、学校行事中の保全美化活動の活発化、自然監視員の新設等さまざまな措置や対策が、短期間の中に急激に目立つようになった。その状況を、前例同様に新城地区に見ると次のとおりである。

年度	46年	47年	48年	49年
新城市		桜湖観光開発		
	有海原工場団地		工場誘致	
		大洞山宅地造成		
	雁峯林道		×道路と自然の研究会	災害▲
			新城ゴルフ場	×調査
鳳来町		吉祥山ゴルフ場		
	鳳来寺山パークウェイ	×保全宣言	×保全パトロール	
作手村		民宿		
	湿原の農地開発		×植物移植、×長ノ山天然記念物指定	
		本宮山スカイライン	第二次工事	×人工湿原、×崖面緑化

×印は保全活動

この2例の表からも46～47年あたりは、奥三河へ開発の手が集中したことがよくわかる。

日本人は何かにつけ熱しやすく冷めやすいと云われるが、環境保全についても例外ではない。例えば、鳳来寺山パークウェイの場合を見ても、毎日発破の音が響き、霊山の山肌が日毎に削りとられ、崩土が麓の部落を襲い、仏法僧の声も絶えた工事中には、活動も極めて効率が高く、日を待たずして「山を守れ」「お山へは傘杉のそびえる参道を、1443段の石段を」等の現状批判、自然保護の声がわき起り、引いては鳳来町の「自然を守る宣言の町」と云う政策スローガンとして表舞台に登場することともなった。

それから10年余を経過した現状はどうであろう。「山肌のモルタルも見馴れ、山へは車が当り前、仏法僧も帰って来た……」ともなると、全ては早くも昔語りとなり、実感も風化の中に消えつつある有様であ

る。自然環境保全活動のむつかしさは、このあたりにあると、つくづく思うこの頃である。

(作手高校校長・協議会顧問)

.....
~~~~ 東山植物園とその付近における

野鳥の巣箱観察報告 ~~~~

浅沼秀夫 (尾張旭市)

私が東山植物園およびその付近において、野鳥の巣箱に関係をもつようになったのは、昭和52年10月、カブスカウト92団に / 万歩コース沿いに巣箱設置の指導を依頼された時に始まります。

昭和54年 3月には、私が製作した巣箱をカブスカウト44団と共同で植物園内にも設置させていただきました。以後、毎年管理・観察を続けて現在に至っています。始めの頃は友人達とこの管理・観察を行っていましたが、最近では尾張野鳥の会 (53年12月結成) の行事としています。巣箱は、東山植物園の他、足助町賀茂県有林、猿投山、定光寺自然休養林、森林公園にあわせて約 200個設置しています。巣箱の型は、ヤマガラ用が最も多く、キビタキ、オオルリ、ムクドリ、アオバズク用等があります。

今迄に巣箱を使用して繁殖した野鳥は、シジュウカラ、ヤマガラ、ヒガラ、オオルリ、キビタキ、キセキレイ、スズメ、ムクドリ、アオバズク等があり、その他ヒメネズミ、モモンガ、ムササビ、昆虫ではスズメバチやドロバチも繁殖に利用しています。また、冬期巣箱をねぐらとして使用するものにシジュウカラ、ヤマガラ、ヒガラ、モモンガ、ムササビ等があり、冬眠の場所としているものにはコウモリ、スズメバチ、アシナガバチ、カメムシ、ゴキブリ、カマドウマ、ハサミムシ、アリ、フクログモ、アシダカグモ、ハエトリグモ、オニグモ、カタツムリ等多数の生物が利用しています。

野鳥が巣箱を利用する場所別の利用率は、足助で約80%、猿投山で約60%、定光寺で約40%、森林公園で約10%、東山植物園とその付近で約20%となっています。種については、シジュウカラ、ヤマガラが

ほぼ全域で、スズメは東山植物園と森林公園で、キビタキ、オオルリ、ヒガラは定光寺、猿投山で利用しています。

昆虫については、定光寺より奥地では全く観察されないゴキブリが森林公園と東山植物園付近に多いことが特徴です。冬期に巣箱の点検・観察・清掃をしますが、この時巣箱の中で越冬しているのが見られます。また、その際気がつくのですが、巣箱の中が糞と思われるもので、著るしく汚れ、堆積しています。ゴキブリの他にカマドウマもこれに関係があるようです。

〔東山植物園とその付近の巣箱調査概要〕

|                            | 56. 1. 15 観察                                                                                                                                                                 | 57. 2. 11 観察                                                                                                   | 58. 1. 30 観察                                                                                                                                                                      |
|----------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                            | 巣箱 9 個<br>繁殖：シジュウカラ 2<br>ヤマガラ 1、空 7<br>野鳥のねぐら利用 4<br>ゴキブリ 17 (4)<br>ドロバチの巣 10 (1)<br>アリ 500 (2)<br>ハサミムシ 3 (1)<br>フクログモ 20 (2)<br>カニグモ 2 (1)<br>アオオビハエトリ 1 (1)<br>マイマイ 1 (1) | 巣箱 10 個<br>繁殖 0、空 10<br>野鳥のねぐら利用 1<br>ゴキブリ 44 (7)<br>ドロバチの巣 17 (1)<br>アリ 70 (2)<br>ハサミムシ 1 (1)<br>フクログモ 41 (8) | 巣箱 10 個<br>繁殖：シジュウカラ又は<br>ヤマガラ 2、空 8<br>野鳥のねぐら利用 1<br>ゴキブリ 66 (5)<br>ドロバチの巣 25 (2)<br>アリ 120 (2)<br>ハサミムシ 19 (1)<br>フクログモ 59 (9)<br>アシヨレグモ 2 (2)<br>キハダカニグモ 1 (1)<br>その他のクモ 2 (2) |
| 植<br>物<br>園<br>内           | 56. 1. 15 観察                                                                                                                                                                 | 57. 2. 11 観察                                                                                                   | 58. 1. 31 観察                                                                                                                                                                      |
|                            | 巣箱 7 個<br>繁殖：ヤマガラ 3<br>シジュウカラ 1<br>スズメ 1、空 2<br>野鳥のねぐら利用 3<br>ゴキブリ 6 (1)<br>アリ                                                                                               | 巣箱 5 個<br>繁殖：スズメ 1<br>空 4<br>野鳥のねぐら利用 1<br>ゴキブリ 23 (2)<br>フクログモ 14 (4)                                         | 巣箱 5 個<br>繁殖：ヤマガラ 1<br>空 4<br>野鳥のねぐら利用 1<br>ゴキブリ 36 (3)<br>ドロバチの巣 1 (1)<br>アブ類？の幼虫 10 (1)<br>フクログモ 31 (5)<br>ムカデ 1 (1)                                                            |
| 一<br>万<br>歩<br>コ<br>ー<br>ス |                                                                                                                                                                              |                                                                                                                |                                                                                                                                                                                   |

( ) 内は入っていた巣箱の数。野鳥の利用は巣材・ふん等で判断

〔定光寺自然休養林の巣箱調査概要〕

| 5 6 年 度 観 察                                                                                                                                                                                                                                | 5 7 年 度 観 察                                                                                                                                                                                                                                     |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>巣箱 4 8 個</p> <p>繁殖：ヤマガラ 10、シジュウカラ 6</p> <p>空 32 ※野鳥のねぐら利用 8</p> <p>ヒメネズミの巣 2(2)、ムササビの巣 1(1)、ドロバチの巣 62(6)、スズメバチの巣 5(5)、ホソアシナガバチ 42(4)、その他のハチ 2(2)、カメムシ 1(1)、ハサミムシ 1(1)、昆虫の幼虫・さなぎ 3(2)、フクログモ 136(27)、その他のクモ 4(4)、カマドウマ 18(5)、ムカデ 1(1)</p> | <p>巣箱 4 7 個</p> <p>繁殖：ヤマガラ 15、シジュウカラ 9</p> <p>空 24 ※野鳥のねぐら利用 15</p> <p>ヒメネズミの巣 3(3)、アリ 10(1)、ドロバチの巣 40(8)、スズメバチの巣 7(7)、オオハキリバチの巣 2(1)、クサギカメムシ 3(3)、サシガメ類 2(2)</p> <p>昆虫の幼虫 11(2)、フクログモ 64(16)</p> <p>その他のクモ 6(2)、カマドウマ 1(1)</p> <p>ムカデ 1(1)</p> |

その他巣箱だけでなく樹木の幹等も猿段山などに比べて非常に汚れており、落葉から森全体までうす汚れているように感じられます。これはほこりなどが原因でしょうが、前記の糞にも多分に関係があるようです。生態系は複雑に入り組んだもので簡単に論ずべきではないと思いますが、天敵としてのキジ、キツツキ、カエル、クモ等が少なくなると、森の様子まで変わってくるような気がします。生態系に充分配慮した自然の保護が必要であります。

今後ともこのような調査を通じて、自然の理解に努めていくつもりでいます。

(尾張野鳥の会会長)

〰〰〰〔自然観察情報〕〰〰〰

★ 応急手当 (2)

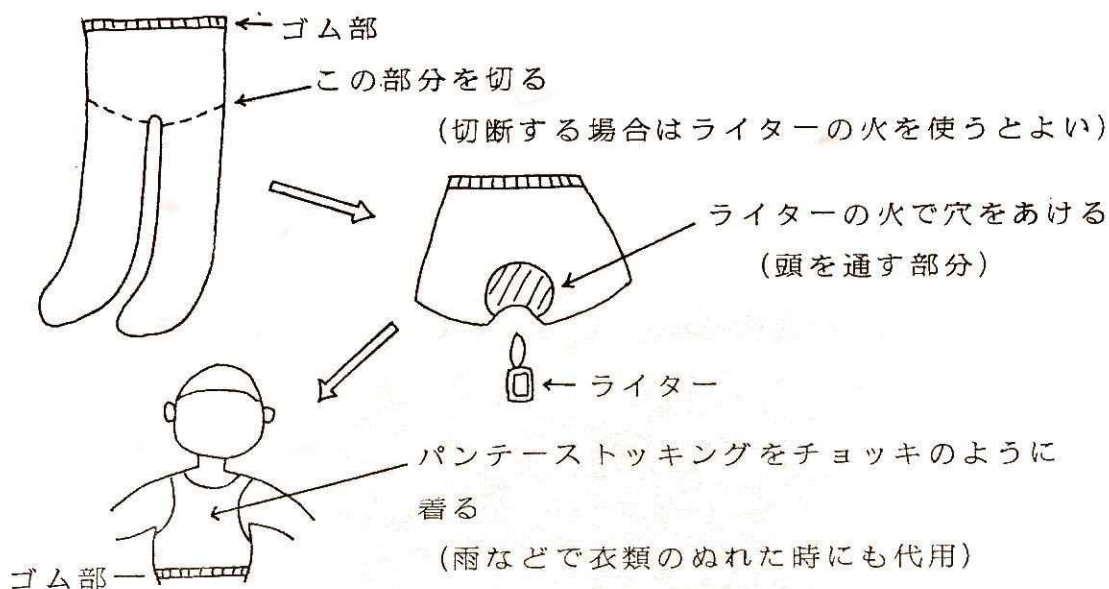
岩崎龍生 (名古屋市)

暖かくなり野外へ出る機会も多くなってきました。今回は、パンテーストッキングによる三角巾応用と医療品について紹介します。

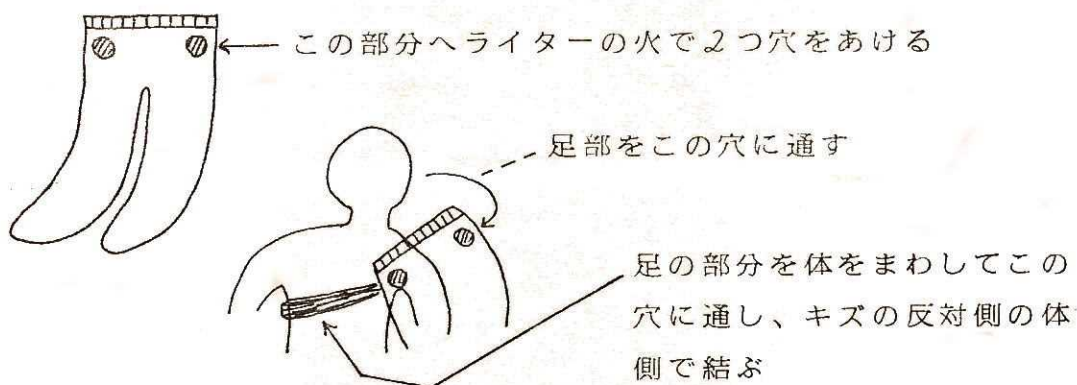
1 パンテーストッキングの利用法

(1) 胸部背中部の包帯の代用

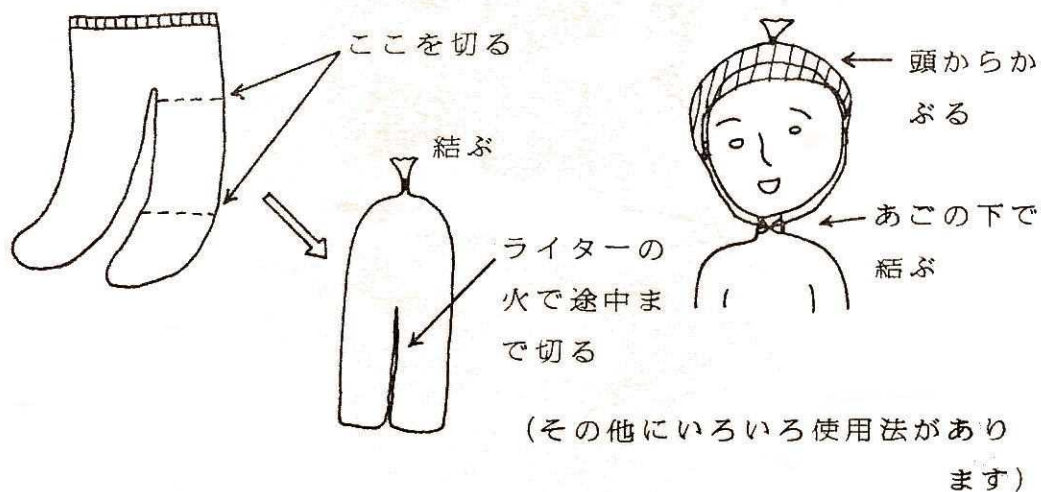
キズ口には必ずガーゼ又は消毒した手ぬぐいなどをあてるようにします。



(2) 肩への包帯の代用



(3) 頭部の包帯の代用



## 2 医療品一覧

|             | 品 名                                                                  | 数 量  | 備 考          |
|-------------|----------------------------------------------------------------------|------|--------------|
| 外<br>傷<br>用 | 0.02%ヒピテン液                                                           | 80cc | 消毒用          |
|             | アイロタンシン軟膏                                                            | /    | 火傷用（その他感染防止） |
|             | モナフラ ワセリン                                                            | 20g  | 〃            |
|             | ペルベックス                                                               | 200g | ねんざ          |
|             | バンドエイド                                                               | /箱   | 切傷           |
| 内<br>服<br>用 | 目 薬                                                                  | 10cc |              |
|             | シグママイシン                                                              | 20   | 抗生物質（感染防止）   |
|             | ブスコパン                                                                | 10   | 鎮静剤（腹痛時に使用）  |
|             | 正露丸                                                                  | 250粒 | 止痢剤          |
|             | テレミンリクト                                                              | 20   | 下剤           |
|             | セデス                                                                  | 30   | 鎮痛剤（頭痛時に使用）  |
|             | バップ リン                                                               | 10   | 解熱剤          |
|             | P.L+シノミン                                                             | 10   | 風邪薬          |
| そ<br>の<br>他 | トローチ                                                                 | 10   |              |
|             | ガーゼ（10）、ばんそうこう（2）、弾性包帯（3）<br>三角巾（3）、綿球（30）、油紙（3）、布、<br>体温計、ピンセット、はさみ |      |              |

### ★ 私と自然観察

北岡明彦（名古屋市）

物心ついた頃からの昆虫少年が、植物分類屋兼バードウォッチャーに転進して10年余。最近、私なりに3条よりなるモットーを確立したので、それについて書いてみたい。

第一条 できるだけ近い場所に自分のフィールドを持つこと。同じ場所でも時期が変わればもちろん、年毎にも生物層は一変し、毎回新しい発見が得られる。

第二条 できる限り多くの分野に興味を持ち理解に努めること。もちろん各分野はいずれも浅く広くとなるが、それにより生態的な自然観察が可能となる。

第三条 特定の種類を選び、集中的に研求対象とすること。例えば、シソ科のアキチヨウジとセキヤノアキチヨウジ。この2種類はごく近縁種であるが、前者は西日本、後者は東日本に分布し、愛知県に分布

限界があることが以前より知られている。昭和53年花期を選んで分布調査を行ったが、限界線が北設楽郡設楽町西納庫より同郡稲武町大字稲橋字横川入を経て長野県へ抜けていることを知ることができた。こうした小さな調査の積み重ねが本当の自然観察の第一歩と思われる。

今まで自然観察を通して一見平凡な自然が、いかに複雑で、かつ謎に満ちているかを、肌で感じることができた。この自然がいつまでも変らぬことを願うものである。

## ~~~~~ { 会員広場 } ~~~~~

### ★ 自然と気温

安藤宏美（稲武町）

自然環境保全、保護と両指導員の委嘱を受けてもう10年以上となる。しかし、何一つとして目的を充分に果す事が出来ず情けない。

自然には手を付けてはいかぬ、許可を受ければ良い、破壊につながる、呼びかけだけは真に名言とも言えるが、何一つとしてこの頃は実行がともなわない様に感ずるけど、さあ皆さん如何でしょう。

この5、6年は、保全保護の相言葉の解説に苦慮する。たまたま自然観察指導員講習会の事を耳にして、そうだこの様な講習が保全保護指導員の必修科目だろうと、昨年受講させていただいた。受講してまたびっくり、教員を中心に専門課程者ばかりである。

まてまて、人間には学歴があるが、自然には学歴がなく神秘があるだろうと考えた。

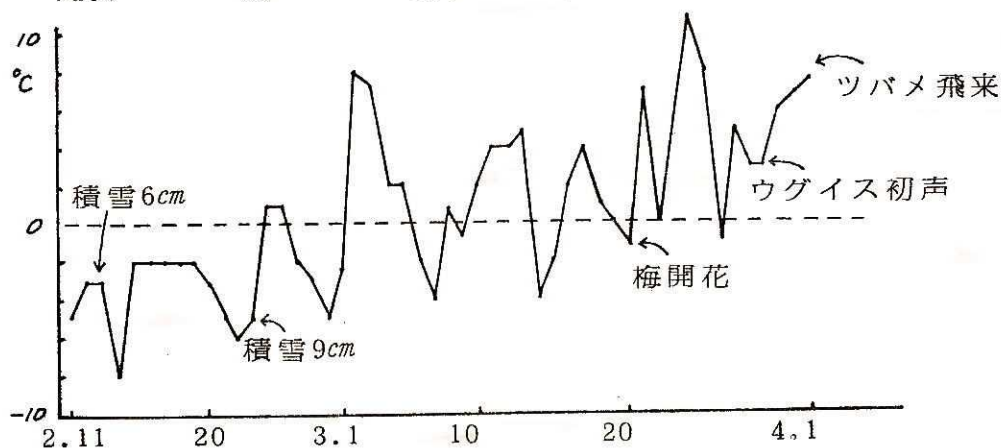
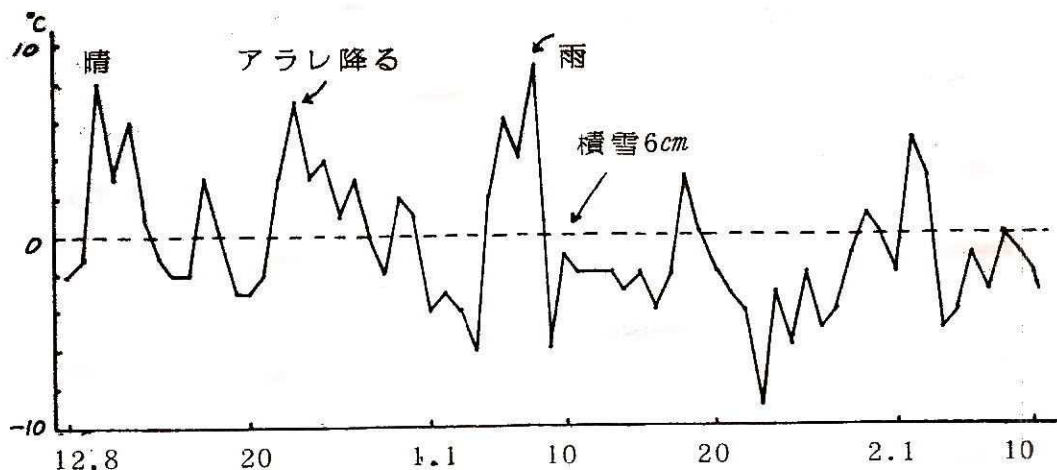
先ず第1に 自然観察を、                      第2に 自然の保全を、  
第3に 自然保護を、                      第4に 推進運動を、  
第5に 美しい自然の日本を

と思いつつ初歩としてあわてずに、身近かな所から行こうと始めたのが裏山の気温観察である。最早4カ月ともなるが、何か目星い事に当る希望をもって、毎日が勉強である。

### 〔気温観測の結果〕

観測地：北設楽郡稲武町大字黒田      （標高 550 m）

測定：毎朝7時



~~~~~ { 地域情報 } ~~~~~

「葦毛湿原の花」(1) —カザグルマ— 東三河支部 (T.S)

幼い頃の思い出はいつになってもなつかしく、カザグルマの花期になると取り戻せないにしえがよみがえる。村祭りのはやしが聞かれる境内を、母親の背中でクルクル回る「風車」を得意気に持っていた事と花の姿が結びつく。春風を受けて揺らぐつる性のこの花、消えそうなぬくもりをタイムトンネルでつなぎあわせて幻の世界に誘う。

家族連れのハイカーも、まぶたに映る幼少の頃の事やはかない望郷を求めて、この花に寄り添うのかもしれない。五月晴のたそがれ時は野の花が持つ魅惑を木々の枝先へ漂わせ、気の小さな羊達をほしいがままにとりこにする。玩具の風車に似たこの白い花、天使のように乾きを潤す心の花。この湿原のカザグルマ。次の世代へ贈れるだろうか。

「良く知っている人と、知らない人に害はない。ただほんの少し知っている人が、いちばんあぶない。」(ゲーテ)

〔 協議会行事報告 〕

1 研修会

昭和 58 年 2 月 11 日 (13:15~16:30) 参加 54 名

於中小企業センター (名古屋市)

(1) 「野鳥と環境」 岩崎龍生 (名古屋市)

(2) 「みんなで調べる自然観察」 浜口哲一 (平塚博物館)

自然観察の考え方、みんなで調べる自然観察事例ータンポポ、
セミ、アシナガバチ、ハクセキレイ

2 役員会 (3 役及び各支部代表者)

昭和 58 年 3 月 19 日 於名古屋市教育館

- ・ 58 年度事業計画の検討、
- ・ 自然観察基本方針の検討
- ・ 58 年度総会の検討

3 編集委員会

第 3 回 57.10.25 於名古屋市教育館

第 4 回 58.4.8 於名古屋市教育館

4 支部の活動

58.1.16 奥三河 打合会及び懇親会

58.1.23 名古屋・尾張 野鳥観察 (弥富野鳥園) 32 名

58.1.23 西三河 矢作川の野鳥観察会

58.1.30 知多 打合会及び映画会 (於武豊) / 2 名

58.1.30 東三河 打合会及び野鳥観察 (豊橋市)

58.3.13 知多 野鳥観察会 (七本木池等) / 2 名

58.3.27 奥三河 打合会及び研修会 (鳳来町)

58.4.10 尾張 打合会 (於春日井市) 9 名

58.4.10 知多 佐布里池の植物観察会 7 名

〔 会員の移動 〕

◎ 脱退 ・ 木村恵子 転出 (知多) ・ 近藤茂子 (尾張)

— 58 年 3 月迄 —

〔 行 事 案 内 〕

| 58 期日 | 主 催 | 内 容 | 備 考 |
|---------|-----------|-----------------------|-------------------------------------|
| 4 . 2 4 | 西三河支部 | 州原池・小堤西池（刈谷市）の観察会 | 支部員別途連絡
9：00州原池集合 |
| 4 . 2 9 | 東三河支部 | 春の自然教室（蒲郡市竹島） | 一般募集、100名
申込：鈴木友之
10：00～15：00 |
| 5 . 8 | 協議会 | すぐれた自然を見る会
（賤母山・他） | 下 記 |
| 5 . 1 5 | 奥三河支部 | 段戸裏谷観察会（野鳥を中心に） | 支部員別途連絡
8：30頃裏谷小学校集合の予定 |
| 5 . 2 2 | 名古屋（東西）支部 | 小堤西池（刈谷市）観察会 | 支部員別途連絡
9：00日進集合の予定（～昼） |
| 5 . 2 9 | 知多支部 | 観察会のための調査
（富具岬） | 名鉄野間駅前
9：30 集合 |

◎ すぐれた自然を見る会（第 / 回）

5 8 . 5 . 8（日）賤母学術参考林（長野県山口町）及び田立の滝付近（南木曾町）

9：00 地下鉄本郷駅出発・自動車に分乗して現地へ、費用：実費
定員20名位（申込多数の場合は、他日にも設定）、雨天は期日変更
申込：佐藤国彦迄（052-961-2111自然保護課、夜05617-3-5674）
詳細は参加者へ連絡。 5月4日迄に申込んで下さい

— { 編 集 後 記 } —

丘陵地ではコバノミツバツツジが、芽吹き始めた林に鮮やかな花を咲かせています。自然が最も美しい時を迎えようとしています。毎週どこかで催しがあります。各支部の幹事さんの労にむくいるためにも、積極的に参加して下さい。（佐藤）